

津軽地域保健医療圏における新中核病院整備に係る  
基本計画に基づく施設整備計画（案）

新中核病院整備の基本計画を基に作成した施設整備の具体的な方針。

＜市民に開かれた病院＞

- 高齢者、障害者、こどもから大人まで全ての市民が利用する施設として、ユニバーサルデザインを徹底します。
- わかりやすいアプローチ、平面計画、フロア構成とし、安心して利用できる施設計画とします。
- 待合スペース、レストラン、情報プラザなどアメニティースペースを充実させ、療養環境の向上を図ります。

＜機能性・変化への対応＞

- 24時間365日の二次救急医療を担えるよう、救急機能を充実させます。
- 放射線部門と内視鏡センターを救急外来付近に配置することで緊急時に迅速な検査・治療が可能となる計画とします。また、救急外来と手術部門を緊急用エレベーターで直結することで、重篤な患者の迅速な搬送・処置が可能となる計画とします。
- 6m×9mを基本とした大スパン構造、乾式間仕切壁とし、将来の改修に対応しやすい計画とします。
- 手術部門は低層部の最上階に配置し、既存建物の階高の制約を受けない機能的、長寿命な施設計画とします。
- 大型機器を有する放射線部門は1階に集約して配置し、機器の更新に対応できる荷重設定とルートを確保します。

＜効率化の追求＞

- 部門配置を明確にすることで、機能別の動線を短縮し、交錯を減らします。
- スタッフと患者さんの動線を明確に分け、人・物の流れを効率化します。
- 搬送用エレベーターをバックヤードに、一般用エレベーターをわかりやすい位置とすることで、スタッフにも患者さんにも使いやすい縦動線とします。
- 各種監視設備を新棟中央監視室に一元化し、運営の効率化を図ります。

＜安全性＞

- 新棟は耐震構造とし、重要度係数を1.5と高く設定することで、大地震に十分耐えられる耐震性能を確保し、医療機能の継続を可能にします。
- ライフライン途絶に備えた電気設備、機械設備計画とし、医療機能継続を可能とします。
- エントランスの大型キャノピーやエントランスホール、外来部門を中心に十分な災害時受け入れスペースを確保します。

- 救急外来には専用入口を持つ感染外来を設け、新型感染症に対応可能な計画とします。

#### ＜働き、学ぶ場の環境づくり＞

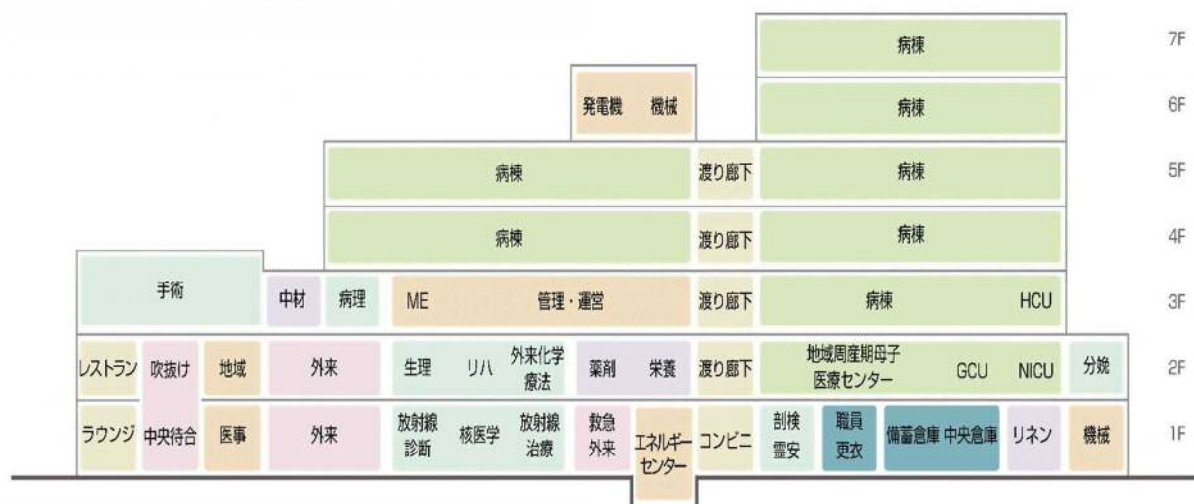
- チーム医療の推進のため、スタッフのコミュニケーション促進、モチベーションの向上に寄与するスタッフスペース（更衣、休憩室）の一元化、管理運営部門と医局、会議・研修ゾーンの集約、連携医受け入れ施設の整備を行います。

#### ＜環境への配慮＞

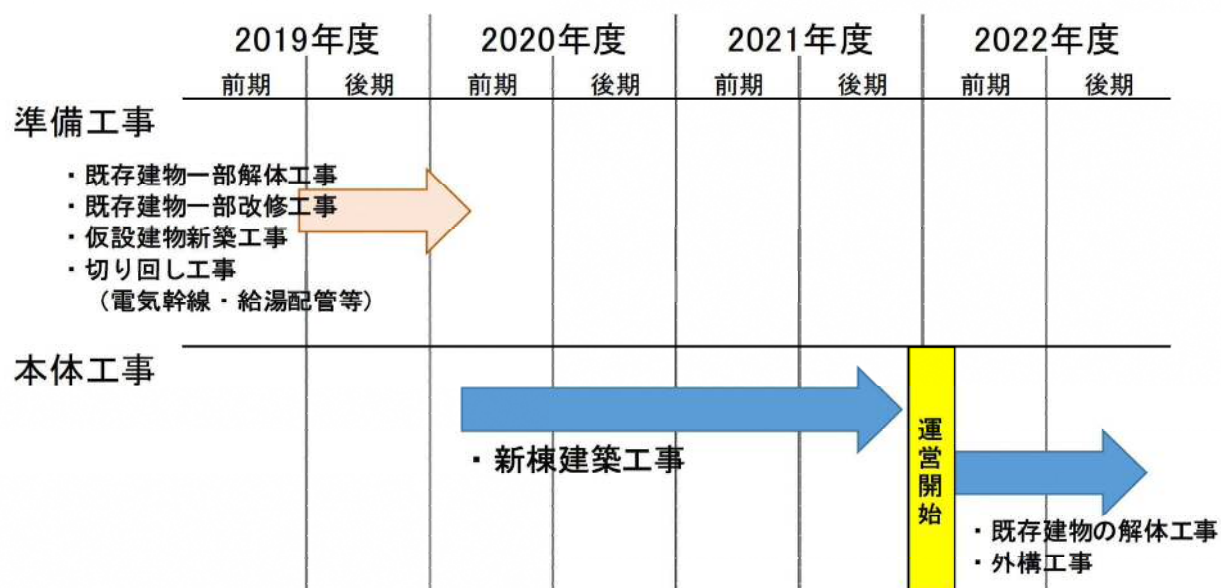
- 高効率省エネ機器の採用、自然エネルギーの利用、設備負荷軽減のための建築計画などによりエネルギーの効率的利用を図り環境への配慮を行い、また病院運営の持続性を高めます。

## ※ 各部門の計画

新たな機能に対応できるよう、必要な広さを確保して、必要な設備を整備する。



## ※ 今後の整備スケジュール







新中核病院イメージ（外観 北側）



新中核病院イメージ（外観 北東側）





新中核病院イメージ（外観 西側）



新中核病院イメージ（外観 北西側鳥瞰）





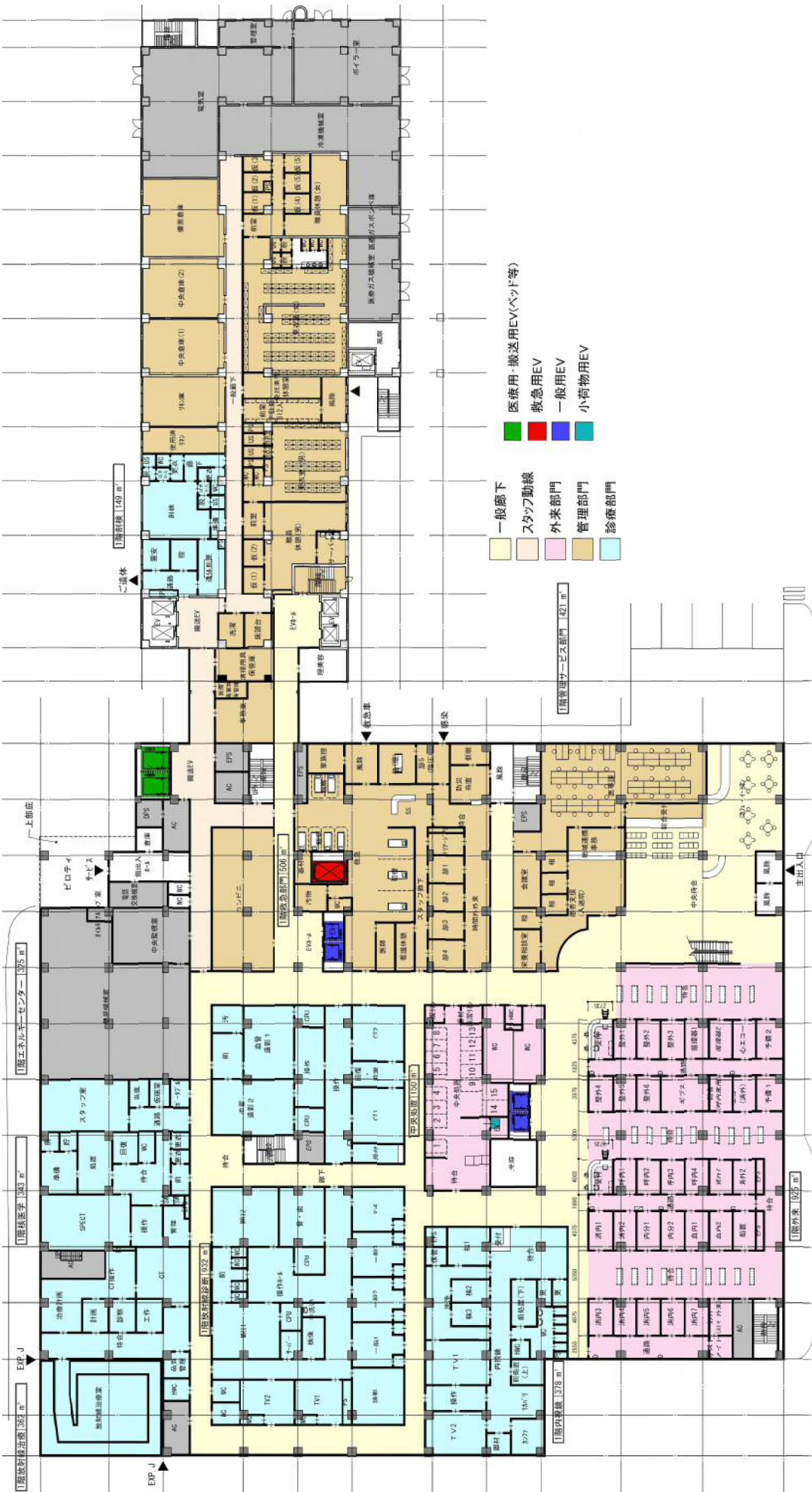
## 新中核病院イメージ（外観 北側鳥瞰）



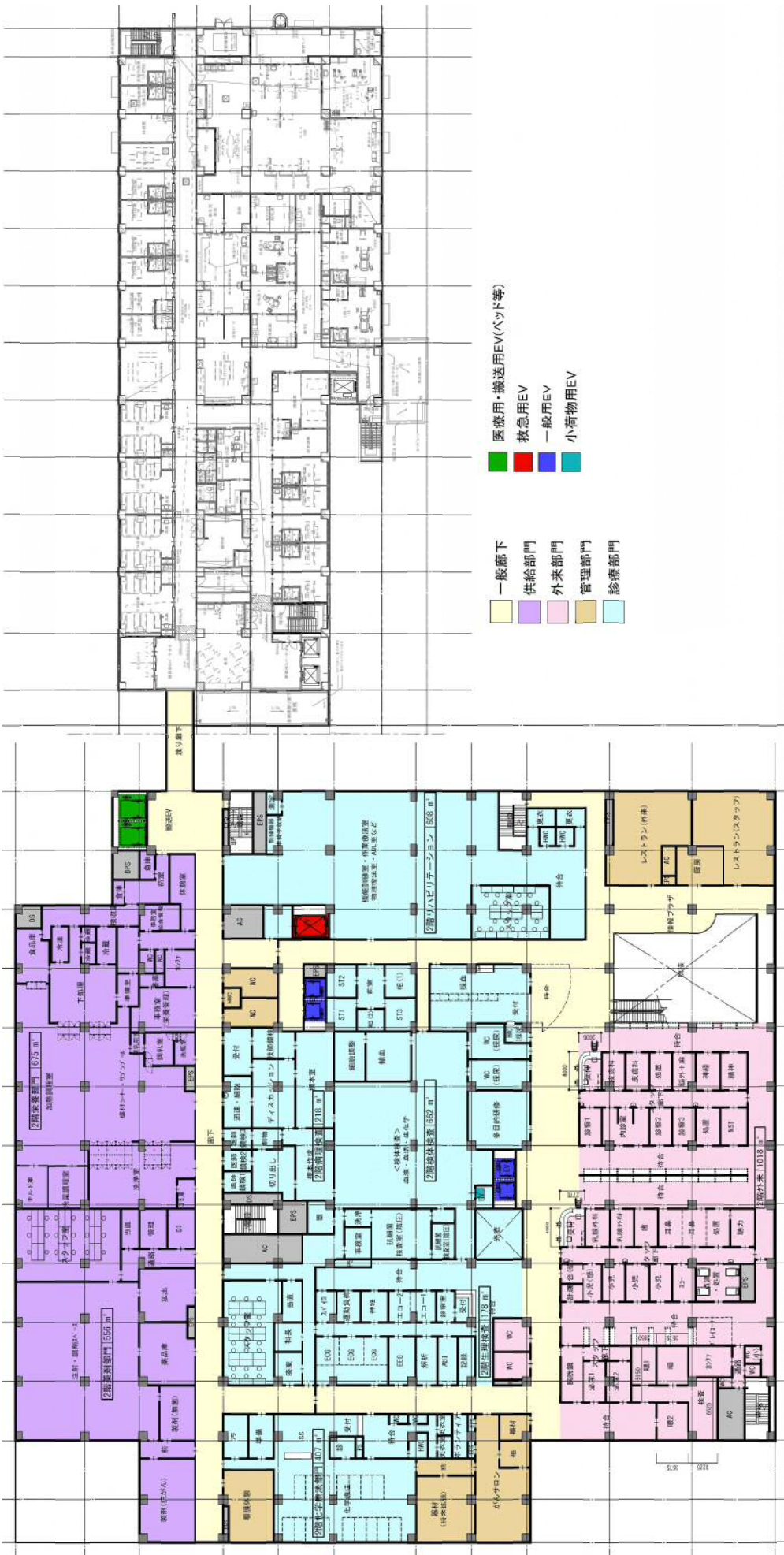




# 圖面階1



新中核病院





新中核病院



新中核病院  
4階平面図





# 新中核病院 5階平面図







参加  
無料

# 津軽地域医療フォーラム

～新中核病院のことを知る、救急医療のことを考える～

## 2019

2019.8.24 (土) 14:00~16:30

会場

弘前大学  
創立50周年記念会館  
みちのくホール  
〒036-8560 弘前市文京町1

### プログラム

14:00-14:05 主催者挨拶 櫻田 宏 (弘前市長)

14:05-14:55 テーマⅠ 新中核病院

講演①「地域医療構想と新中核病院」

有賀 玲子 氏 (青森県健康福祉部長)

講演②「新中核病院の概要」

藤 哲 氏 (国立弘前病院特別統括病院長)

14:55-15:10 テーマⅡ 救急医療

話題提供「救急搬送の現場」

小山内 健介 氏 (弘前消防本部警防課主任)

15:15-16:30 パネルディスカッション ～どんなときに、救急医療？～

座 長 花田 裕之 氏 (弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター長)

パネラー 長谷川 範幸 氏 (板柳中央病院長)

パネラー 伊藤 真弘 氏 (健生病院長)

パネラー 坂本 祥一 氏 (弘前市医師会理事・坂本アレルギー呼吸器科医院長)

パネラー 平井 歩 氏 (弘前消防本部警防課救急係長)

アクセ  
セス

JR弘前駅

・徒歩約20分

・バス約15分 JR弘前駅前 3番のりば

「小栗山・狼森線」「学園町線」→「弘前大学前」下車

弘南鉄道大鰐線

・弘高下駅下車徒歩約5分

・弘前学院大前駅下車徒歩約7分

※会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。



主催 弘前市

共催 独立行政法人国立病院機構、国立大学法人弘前大学、青森県

後援 一般社団法人弘前市医師会

お問い合わせ: 弘前市健康こども部地域医療推進室 0172-35-1111 (内線322、982)